（別添　概要版（エントリーシート添付資料））

行革甲子園

# 「教育委員会が学校へ引っ越し！？」現場の心に火をつける学校の働き方改革（長野県塩尻市）

## 取組概要

・教育委員会と学校現場の組織の枠を超えた「対話型伴走支援」を実践し、「学校主体の持続可能な改革」を推進。
・学校現場に飛び込み、課題を共有し、共に考える「現場密着型伴走支援」を実践。
・校務DXを加速させる「重層的な支援体制」の構築。

## 取組の効果

・学校と教育委員会の一体的な取組により、時間外削減時間（一人あたりの月平均）を前年比約20%の削減。
・学校現場の組織的な「心理的安全性」や「一体感」が高まり挑戦できる機運の醸成や個人の意識変化によるメリハリのある「自律的な働き方」の定着。
・取組の輪が地域にも広がり、地域住民との連携による協働関係の新たな取組へ。

## 創意・工夫した点

**●現場密着型の共創改革**
**・学校への派遣業務を通して業務の苦労を体感し、教職員との心理的距離を近づける「泥臭い対話」の挑戦。**
**・現場で得た知見は、次年度の予算編成に反映。**
**・現場に深く入り込むことで一過性で終わらせない徹底したアフターフォローへ。**

## 他団体へのアドバイス

**働き方改革を成功させる鍵は教職員が当事者意識を持つこと。「現場へ飛び込み」学校現場を知る努力と姿勢や「共に変えていこう」というメッセージの発信により、教職員の主体性を引き出すことが大切です。**

人口　64,873　人（R8.1.1現在）
担当　こども教育部　学校教育課

「対話を通して生まれる挑戦的な取組から調和の取れた職場環境を目指す」

新たな学校運営を目指して、職場全体で取組を進めていく！！